

授業改善推進プラン

【 4年 】

令和5年度 小平市立小平第四小学校

	学習状況の実態及び課題	具体的な改善策	追加・修正
国語	<ul style="list-style-type: none"> 漢字は概ね定着しているが、送り仮名の間違いが散見される。 文章を読み、登場人物の心情を読み取ったり、自分の考えを表現したりする力がついてきている。一方で、要約をしたり、伝えたいことを整理して書いたりする力に課題が見られる。 意欲的に学習に取り組む児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業内で新出漢字を学習した後、複数回小テストに取り組みさせることで、年度末までに小テストの平均点を80点以上にする。 ◎自分の思いや考えを表現できるようにするために、考えを書いたり話したりする文型や話型を提示する。 ・説明文の単元では要約の仕方の学習を取り入れ、要約のポイントをつかませ、年度末までに自力で100字程度の要約をできるようにさせる。 ・単元のめあてを意識させ、見通しをもって主体的に学習することを継続させる。 	
社会	<ul style="list-style-type: none"> 課題に合わせて本やインターネットを用いて資料を集めることができるが、情報を比較検討したり整理したりすることに課題が見られる。 ・生活に身近な社会的事象への関心は高く、意欲的に学習する児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎学習課題を明確にし、既習事項や生活経験から自分なりの考えをもつとともに、資料から必要な情報を読み取れるようにする。 ・課題解決の際に調べる目的や視点を全体で確認し、適切な資料を選択する経験を積ませる。 ・グラフや表の項目や数値に注目させて特徴を考えさせたり、全体的な傾向を読み取ったりする活動を多く取り入れる。 ・学習者用端末を活用することで必要な資料を集めたり、学んだことを効果的にまとめたりできるようにする。 	
算数	<ul style="list-style-type: none"> 単純に四則計算をする力がついてきているが、ケアレスミスが少なくない。また、コンパスや分度器などの道具を正しく操作するのが難しい児童も一部いる。 ・場面をとらえて立式したり、その根拠を示したりすることに個人差がある。 ・新しい学習に興味をもち、すすんで取り組む児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎絵や図を活用しながら立式し、自分の考えを言葉で説明できるように指導する。 ・習熟度に応じて授業の初めに既習事項を復習する時間をとり、基礎基本の定着を図り、年度末の四小検定の平均点を160点以上にする。 ・どの習熟コースに行っても、自分の考えをノートに書き表し、思考過程を整理できるようにしていく。年度末までに教科書の学習では根拠をもって自分の考えをノートにかけるようにする。 ・単元のはじめに、既習事項を確認するとともにどんなことを学んでいくか見通しをもたせ、これからも主体的に学習に取り組めるようにする。 	
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・生物、自然の事柄に関心をもち、すすんで学習に取り組む児童が多い。 ・自然のしくみやはたらきについて概ね理解している児童が多く、課題に合わせて予想・実験・観察ができるが、適切に考察を行うことが難しい。 ・自然の様子や変化について、観察した様子を表現する手段が乏しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎児童がもった疑問や気づきを学習課題とすることで、目的意識をもって取り組ませる。 ・実験方法や観察をする視点を明確にし、結果をわかりやすく整理することで、考察させやすくする。 ・単元のまとめには、学習を振り返り要点を復習させる。 ・自然の様子や変化について観察をする際、どのように表現したらよいか具体的に指導する。 	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・旋律の重なりを楽しみながら楽曲の面白さを感じ取ったり、感じ取ったことを言葉や音で表現したりすることができる。音符や文字に書き表す経験は少ない。 ・全体指導で指示が入る児童が多く、意欲的に学習に取り組んでいるが、中には支援を要する児童もいる。 ・体を動かす活動では、音をよく聴きリズムを合わせて活動できる児童が多く、意欲的である。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎学習者用端末を活用して楽曲について自分の考えを基に友達と意見を共有し、対話的な学びを通して歌詞や曲想に合った表現、音楽をつくる過程を工夫することができるようにする。 ・鑑賞において、感じたことと気付いたことを関連させて鑑賞する力を身に付けさせる。 ・ペアやグループ活動を通して、学習者用端末を活用しながら自分の意見を基に互いに意見を伝え合える環境をつくる。 ・体を動かす活動を通して友達と気持ちよくコミュニケーションをとれる時間をつくり、心が開放できる時間を多く設ける。 	

図工	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の感覚や行為を通して、造形的な特徴を分ることができる。表し方を自分なりに工夫してつくることができる。彫刻刀等の基本的な技能が身に付いている。 ・進んで表現したり鑑賞したりする活動に取り組むことができるが、きちんとした作品をつくりたいという思いが強く、試したり新しいことにチャレンジしたりすることが少ない。 ・進んで表現したり鑑賞したりする活動に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎つくりつくりかえたり、試す中から見つけたり、ダイナミックに遊ぶようについたりする楽しさが味わえる活動を設定する。 	
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールやなわなどの道具を使って運動したり、泳いだりするなど、技能面の習熟に大きな個人差がある。 ・運動に応じたためあてをもち、活動の仕方を考え、工夫して運動しようとする力がついてきている。 ・運動することが好きな児童が多く、意欲的に学習に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎学習カードを活用し、自分のめあてや作戦を具体的に選ばせて活動に取り組ませる。また、学習する中で見つけたポイントを伝え合い、運動の工夫ができるようにする。 ・絵や図や動画を活用して、運動の仕方のポイントとなる資料を提示したり、反復練習の時間を確保したりして技能の向上を図る。 ・学習の中に振り返りを必ず取り入れ、よかったことと改善点を常に意識させる。また学習カードを活用し、思考を言語化させることで、思考の活性化を促し、年度末のアンケートで8割の児童が思考して運動できている実感をもてるようにする。 	
総合	<ul style="list-style-type: none"> ・調べた事象について、自分の生活や生き方と関連付けて考えることが難しい。 ・個人端末を使ってまとめることに意欲的である。 ・ほとんどの児童が、身近な地域・自然の教材に興味をもち、意欲的に学習を進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎体験的な学習を通して課題意識をもち、多様な見方や考え方ができるようにする。 ・調べ方、まとめ方を広げられるよう、個人端末を活用する。 ・事前学習をおこなうことで課題意識をもてるようにし、体験的な学習を通して実感を持ったより深い学びができるようにする。 ・地域の方やボランティアの方にとどのように関わっていただくかを明確にし、協働的な学習になるように計画する。 	
特活	<ul style="list-style-type: none"> ・学級会では積極的に発言する児童が多いが、自分の意見をもてない児童もいる。 ・当番活動に自主的に取り組める児童が多いが、個人差がある。 ・会社活動では、みんなが楽しめる企画を計画・実行できる児童もいるが、個人差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎よりよい生活を築くために自主的に考え、行動できるようにする。 ・学級会を定期的に関き、話型や話の聞き方の指導を行うことで話し合いの仕方を身に付けさせ、議題に沿った話し合いができるようにする。 ・仕事内容や取り組みの状況を可視化することで、責任をもって当番活動に取り組めるようにする。 ・各会社の活動の様子を取り上げてもらい、称賛される経験を重ねることで、より意欲的に会社活動に取り組めるようにする。 	
道徳	<ul style="list-style-type: none"> ・教材等をもとに自分なりの考えを発表しようとしている。 ・教材の内容について自分のこととして捉え、気持ちを考えることはできるが、道徳的価値と結び付けて考えることに課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎B主として人との関わりに関することを重点に指導する。 ・自分の考えをノートに書く時間を十分に確保することで自信をもって発表できるようにし、対話的な学びができるようにする。 ・児童が多面的・多角的に考えられるように発問を工夫し、道徳的価値の理解が深められるようにする。 ・自分の考えをノートに記録していくことで、年間を通しての自己の成長を実感できるようにする。 	
外国語	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝え合うことについては、練習が必要である。 ・進んで外国の文化を知ろうとする児童が多い。 ・基本的なあいさつや、天気、曜日などについて英語での表現に親しんでいる。数字、日付を言うことに苦手意識を感じている児童が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況を設定し、どうしたら相手に伝わるのか考えながらやり取りをできるようにさせる。 ・ゲームなど楽しい雰囲気でのコミュニケーションをとりながら、繰り返し音声を聞かせ、英語表現に慣れ親しませるようにする。 	